

# 日本特殊教育学会第 62 回大会 (2024 福岡大会)

## 『特別支援教育の SDGs

—わたしからはじめる/わたしからつなぐ—

## 大会通信

### ご挨拶

日本特殊教育学会第 62 回大会 準備委員会  
委員長 中村 貴志(福岡教育大学)

この度、日本特殊教育学会第 62 回大会(会期:2024 年9月6日(金)~8日(日)、会場:福岡国際会議場)を、福岡教育大学で担当させていただくことになりました。皆様には、新型コロナウイルス感染症拡大に際して、誌上発表・WEB 開催となりました第 58 回大会(福岡教育大学)のことも、まだ記憶に新しいことかと思えます。あれから約4年となります今回の大会は、皆様を福岡の地にお迎えしまして、あらためて対面での開催を予定しております。

会場となる福岡国際会議場は、JR 博多駅や福岡空港からのアクセスも良く、ユニバーサルデザインで設計されています。また、福岡は発展し続ける斬新な近未来的な景観をもちながらも、古い街並みや史跡のなかに、大陸からの文化を受容してきた歴史と人の「おおらかさ」や「温かさ」を感じることができる都市です。さらに、福岡から九州・沖縄各県へと足をのばしていただくと、個性豊かなお国自慢や多彩なグルメを楽しむことができます。

さて、振り返りますと、第 58 回大会は「インクルーシブ教育実現に向けての協働と革新」というテーマで開催いたしました。大会では、「より良い実践と研究を継続的かつ一体的に行うための取り組み」「多領域・多職種連携の必要性と課題」「アートのもたらす自己実現と社会参加」などの視点から、今後のインクルーシブ教育実現に向けて、熱心なご議論をいただきました。

そこで、今回、大会準備委員会では近年の大会の方向性や成果、第 58 回大会の課題を整理しながら、企画を進めて参りました。その際、あらためて国連が掲げた SDGs(持続可能な開発目標:Sustainable Development Goals)のコンセプトである「誰一人取り残さない社会」「誰もが社会の担い手」「包摂的な社会の形成」という視点は、今回の大会はもとより、これからの特別支援教育の展開と新たな価値の創出に向けて重要な内容と考えるに至りました。

大会のテーマは、この SDGs のコンセプトを踏まえながら、サブタイトルにはあえて平易なことばで『わたしからはじめる/わたしからつなぐ』としました。今、わたしからはじまる特別支援教育が身近な地域やエリア、さらには全国へとつながる仕組みが必要だと考えます。また、個々の研究・実践のもつ多様性や重層性の融合こそが、新たな成果を生み出すのではないのでしょうか。

大会では、様々な講演、シンポジウムなどとおして、特別支援教育における地域連携・協働や教師の養成・研修のあり方など、教育現場が直面する様々な課題について議論できればと思います。また、基礎的研究の成果の発信も期待される所です。

大会の準備はまだ途上ですが、対面開催の良さを十分に活かしながら、会員の皆様へ新たな交流の機会を提供できるよう大会準備委員会一同取り組む所存です。皆様方のお越しを心よりお待ちしております。

# 開催概要

## 開催日時・会場

会期：2024年9月6日(金)～8日(日)

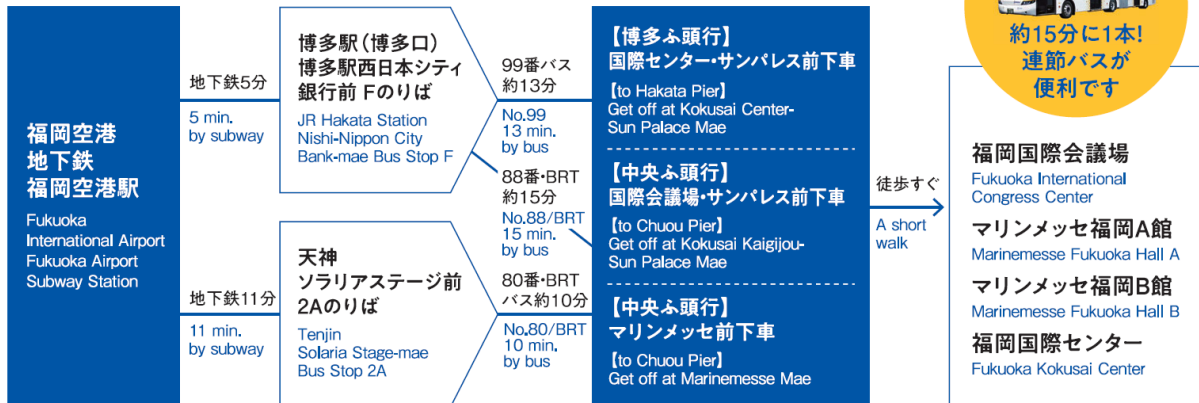
会場：福岡国際会議場 (〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町2-1)

### ●会場までのアクセス

#### 周辺マップ Area Map



## 地下鉄・バス By Bus or Subway



天神・博多駅のバス停からコンベンションゾーンを循環する連節バス(BRT)が運行しております。Articulated bus loop route (BRT) runs between Tenjin, Hakata and the Convention Zone

## 車・タクシー By car or taxi



## 第 62回大会の日程(予定)

日程	午前	午後
9月6日(金)	(編集委員会)	企画シンポジウム 自主シンポジウム、研究発表
9月7日(土)	企画シンポジウム 自主シンポジウム、研究発表	特別講演、企画シンポジウム 自主シンポジウム、研究発表
9月8日(日)	企画シンポジウム 自主シンポジウム、研究発表	自主シンポジウム、研究発表

※企画段階につき、変更する可能性もあります。また、オンラインによる配信はありません。

## 第 62回大会の主な企画

### (1)研究発表

ポスター発表（口頭発表はありません）

### (2)自主シンポジウム

### (3)特別講演(9月7日) ※一般公開(無料)

テーマ：「特別支援教育の現状と今後の展望(仮題)」

講師：中村 信一 氏(独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 理事長)

生方 裕 氏(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 課長)

司会：中村 貴志(福岡教育大学)

### (4)国際シンポジウム

### (5)学会・大会企画シンポジウム

### (6)教育講演

### (7)会員のつどい・受賞者講演

### (8)フューチャーリサーチアワード

大学院生が筆頭となる研究発表を対象として選考を行う予定です。実施詳細につきましては、後日お知らせします。

## アクセシビリティ・サービス

---

大会期間中、会員の様々なニーズに応えるため、障害のある方を対象にアクセシビリティ・サービスを提供いたします。詳細につきましては大会ホームページをご覧ください。アクセシビリティ・サービスをご利用いただくにあたっては、サービス担当者の手配や配置などの準備や調整が必要となりますので、期限(5月31日(金)18:00)までに、事前のお申込をお願いいたします。

アクセシビリティ・サービスのお申し込みについては、以下の点にご留意ください。

1. 障害のあるご本人以外のお申込はお受けできません。
2. アクセシビリティ・サービスの提供は、基本的に以下の2つの場合に限定されます。
  - (1)障害のある方ご自身が発表する研究発表およびシンポジウム
  - (2)障害のある方が参加を希望する研究発表およびシンポジウム
3. 大会に参加される方は、ご自身が発表する・しないに関わらず、必ず期日までにWEBから申し込みをしてください。
4. 非会員の方も、必ず期日までにWEBから申し込みをしてください。
5. 事前にお申しいただいた方には、大会プログラム公開(7月中旬予定)後に、参加を希望する研究発表、シンポジウム等について確認させていただきますが、各参加者のサービスの希望が異なるプログラムに分散する場合など、サービス希望の状況によって、サービスを提供するプログラムを限定させていただきます。

## その他

---

- 学会参加者を保護者とする生後 3 ヶ月～小学校 6 年生までのお子さまについて託児室を設置します。委員会が窓口となり当日、保育士・幼稚園教諭等の有資格者が保育を行います。詳しくは今後、大会ホームページに掲載しますのでご確認ください。
- 今大会では、旅行会社による宿泊の斡旋は行いません。

## お問い合わせ先

---

参加申し込み・発表申し込み・原稿投稿に関するお問い合わせ

日本特殊教育学会第 62 回大会 運営事務局  
〒651-0086 神戸市中央区磯上通 4 丁目 1-14 三宮スカイビル 6 階 コンファレンス・ラボ内  
TEL:050-5527-7192 (月～金10:00-18:00、土日祝休業)  
E-mail: [jase62@conf-lab.com](mailto:jase62@conf-lab.com)

第62回大会ホームページ

<https://www.jase.jp/taikai62/>



## 参加申し込み・発表申し込み要項

### 大会までの主なスケジュール

期 日	内 容
4月上旬～	・大会参加申込 開始 ・ポスター発表・自主シンポジウム 申込および原稿投稿 開始 ・大会参加費、研究発表費、自主シンポジウム企画費等 払込み開始
2024年5月31日(金)18:00 ※締切厳守してください。これ以降の申し込みは一切受け付けません。	・ポスター発表・自主シンポジウム 原稿投稿締切 ・大会参加申込(前期) 締切 ・アクセシビリティ申込 締切 (会員、非会員にかかわらず全員) ・大会参加費、研究発表費、自主シンポ企画費等 払込み締切
2024年 6 月中旬(予定)	(抄録原稿の倫理審査結果、発表可否の通知)
2024年7月中旬頃	大会ホームページにてプログラム公開
2024年7月31日(水)	大会参加(後期)締切
2024年8月上旬	プログラム集発送

### 今大会のポイント

今大会での昨年との変更点は以下です。ご注意ください。

- 研究発表費・自主シンポジウム企画の申込・論文原稿・諸費用納入の締切は、**すべて5月31日(金)18:00**です。
- 自主シンポジウムはすべて**現地開催**となります。オンデマンド配信による発表はありません。
- プログラム集は、学部生をのぞく参加者すべてに冊子にて配布いたします。
- 発表論文集は PDF のデータ形式にて配布いたします。CD-ROMによる配布はいたしません。
- 名札はプログラム集に同封し、事前送付いたします。

### 大会参加申し込み

#### ① 申し込み方法

- 大会ホームページより申し込みを行ってください。登録後に『参加受付番号(数字4桁)』が付与されます。
- 大会参加申し込みの締切は、**5月31日(金)18:00(時間厳守)**です。

#### ② 諸費用の納入

- **5月31日(金)**までに納入してください。期日を過ぎた場合には、参加申し込みはキャンセルとなりますのでご注意ください。
- 参加申し込み・諸費用のお支払いを完了された方には、『参加申込完了メール』が送信されます。大会当日まで必ず保管ください。ご提示をお願いする場合がございます。

## 大会参加費および諸費用

### 大会参加費

正会員	会員	前期:9,000円 後期:10,000円	全ての企画に参加可能 ※発表論文集(PDF)とプログラム集(冊子)を含みます。
大学院生・研究生・ 専攻科	会員・非会員	3,000円	
臨時会員	非会員	前期:10,000円 後期:11,000円	
学部生		無料 (参加申込 必要)	全ての企画に参加可能 ※学部生は発表関係者にはなれません。 ※プログラム(PDF)を含みます。 ※発表論文集(PDF)は含みません。

すべて現地参加となります。オンライン参加はございません。

### 研究発表費・自主シンポジウム企画費・プログラム・発表論文集

研究発表筆頭発表者および自主シンポジウム企画者は、大会参加費の他に費用が必要となります。いずれも必ず5月31日(金)までにお支払いください。

研究発表費 (ポスター発表)	5,000円	大会参加費とは別に必要となります。研究発表の筆頭者は必ず5/31までに納付してください。
自主シンポジウム 企画費	25,000円	大会参加費とは別に必要となります。企画者は必ず5/31までに納付してください。
発表論文集(CD- ROM)	2,000円	希望者のみ。参加登録時に申込みできます。 (お渡しは会場となります)

\*学部生・専攻科学生・研究生・大学院生(現職教員等の社会人学生を含む。科目等履修生は除く。)で、学生証の提示があった方は、「大学院生・専攻科」に該当する参加費となります(申込の際にデータをアップロードいただきます)。申込の際に学生証の提示がない場合は割引の対象となりませんので、ご注意ください。

\*費用は不課税です。

### 参加申し込み

前期参加申込締切・・・**2024年5月31日(金)18:00**

- 大会ホームページからお申し込みください。
- 日本特殊教育学会の会員は、申込時に会員IDの入力が必要です。会員システムへログインする際の会員ID(8桁)をご用意の上、お手続きください。

### 支払方法と納入期日

納入期日・・・**2024年5月31日(金)**

- お支払いは「銀行振込」または「クレジットカード決済」のいずれかを選択してください。
- 納入された諸費用の変更・返金は一切できません。
- クレジットカード決済はWEB上での決済となります。参加申込み時にお支払いまでお進みください。
- 銀行振込の方は、指定の口座にお振込ください。振込手数料は各自でご負担願います。  
口座情報は申込時に表示されます。
- 大会参加費と諸経費は必ず期日までに納入してください。参加費と諸経費の領収をもって、受付完了となりますので、期日までにご入金を確認できない場合は、申し込みは取消となります。ご注意ください。

## 研究発表(ポスター)・自主シンポジウム企画の申し込み

参加申込時に、研究発表・自主シンポジウム企画の申込を行っていない場合、論文投稿ができません。  
研究発表・自主シンポジウム企画の論文投稿〆切と、諸費用の納入締切は、5月31日(金)18:00です。

### 【発表形式】

- 研究発表:ポスター発表(口頭発表はありません)
- 自主シンポジウム (今大会はすべて現地での開催となります。動画のみの発表はありません)

### 【発表資格】

- 研究発表者の筆頭発表者、自主シンポジウムの企画者・司会者は、発表申込締切日5月31日(金)の時点で、日本特殊教育学会の正会員であり、学会年会費を納入済みであること。会費未納の場合は、学会の除名対象となる可能性、発表資格を失う可能性が生じます。
- 連名発表者、話題提供者と指定討論者は会員に限定しませんが、大会参加の申し込みおよび諸費用の納入が必要となります。
- 現在は非学会員で、これから入会をして発表申し込みをされる方は、5月11日(土)開催の理事会で入会承認を受ける必要があります。必ず5月6日(月)午前中までに入会手続きを済ませてください。入会手続きについては、学会ホームページにてご確認ください。申し込みには入会承認後に発行される『会員ID(数字8桁)』が必要となります。

### 【発表条件】

- 研究発表(ポスター)は1人1題に限ります。ただし、連名発表者(共同発表者)については、この限りではありません。
- 同一グループによる連続発表は、3題までとします。
- 連名発表者(共同発表者)は、大会不参加(名前のみ記載)の場合であっても大会参加費の事前支払いが必要となります。大会参加申し込みの上、5月31日(金)までに大会参加費の振込を完了してください。連名取り消しの場合であっても大会参加費は返却いたしませんのでご注意ください。

自主シンポジウムの企画は1人1企画に限ります。複数の企画はできません(同じ発表者が、複数の自主シンポジウムの企画はできません)。

研究発表(ポスター)の筆頭発表者、自主シンポジウムの企画者、司会者、話題提供者、指定討論者におけるご登壇合計回数は3回までに限ります。(学会企画および大会企画シンポジウムご登壇、筆頭以外の研究発表については、この限りではありません。登壇しない企画者も、企画者として登録する場合はカウント対象となります。)

### 【その他】

- 大会開催後の自主シンポジウム企画者への開催報告の原稿依頼は、現在は行っていません。
- 発表日時のご希望はお受けできません。

### 【申込手続】

#### ① 申し込み方法

[手順1] 参加申し込み…大会ホームページより参加申込みを行ってください。

[手順2] 論文原稿の投稿…参加申込みを完了されると、『参加受付番号(数字4桁)』が付与されますので、その番号と登録いただいたパスワードで、大会ホームページの<論文投稿ページ>から投稿画面にログインして原稿をアップロードしてください。



※この論文原稿の投稿は、自主シンポジウムは企画者が、研究発表(ポスター)は筆頭発表者が行ってください。連名発表者の方は論文の投稿は必要ありませんが、参加申し込みの手続きは必要です。

[手順3] 費用の納入・・・ 期日までに大会参加費および諸費用をお支払いください。

## ②原稿投稿の締切

5月31日(金)18:00(時間厳守のこと。これ以降の申し込みは一切受け付けません。)

- 締切までに論文原稿の投稿がない場合は、取下げされたものとみなします。自主シンポジウム企画費および研究発表費は返却いたしません。

## 大会プログラム・発表論文集について

---

- 大会参加費には、大会プログラム(冊子)と発表論文集(PDF)が含まれています。
- 学部生を除く大会参加者には大会プログラム集(冊子)は事前発送いたします。(学部生には PDF データで提供いたします)
- 今大会の発表論文集は PDF 形式で、大会ホームページからダウンロードできるようにいたします。CD-ROM は希望者のみ個別で購入が可能です。希望者は参加申込時にお申込みください。購入者には、会場の受付でお渡しいたします。
- 学部生を除く大会参加者には大会プログラム集(冊子)は事前発送いたします。

## 原稿投稿要項

### 研究発表および自主シンポジウム(共通)

#### 1. 発表論文集原稿を作成・投稿するにあたっての注意

- 発表論文集は学術的文献として公表されます。内容を十分に吟味した原稿を期待します。
- 内容については、他学会等で公表していないオリジナルなものとしてください。
- 発表内容については、日本特殊教育学会の倫理綱領を遵守していることが必要です。  
なお、提出原稿につきましては、倫理綱領並びに倫理規定を遵守しているかどうかを学会の研究倫理委員会でチェックした上で、発表の可否を判断いたします。特に下記のような倫理上の配慮や手続きが必要な研究については、発表論文集原稿の任意の箇所に、これらの配慮や手続きを行った旨を簡潔に記載してください。

- ・ 相手方の同意・協力を必要とする研究
- ・ 個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究
- ・ 生命倫理・安全対策に対する取組みを必要とする研究
- ・ 法令等に基づく手続き等を必要とする研究

また、事例等を発表する場合、本人・保護者・事例所属機関等への了解及び個人が特定されることのないよう個人情報の取扱いに十分な配慮をお願いいたします。例として、発表論文集原稿では対象者・対象機関等は仮名称(A児、B学校等)を用いる、支援や調査の期間を匿名化する(202x-1年～202x年等)等の配慮を行ってください。提出される資料には必ず「本人あるいは保護者、所属機関等の許可を得て掲載している」旨を明記し、発表時にも許可を得ている旨を口頭でご報告ください。

- 原則として、研究の目的、方法、結果、考察、結論の各項に分けて記述してください。
- 原稿の投稿は、大会ホームページからの投稿画面からのアップロードのみで受付を行います。
- 投稿前に大会参加申し込み時に、研究発表あるいは自主シンポジウム企画の申し込みを行ってください。
- 規定外の原稿で提出された場合および期日に遅れたものについては受け付けできません。
- 研究発表において、筆頭発表者は正会員に限られます(連名発表者は非会員でもかまいません)。
- 自主シンポジウムにおいては、企画者および司会者が正会員であることを確認してください。
- **5月31日(金)18:00(時間厳守)までに投稿(アップロード)を完了してください**。申し込み期限までに論文原稿の投稿がない場合は、取下げされたものとみなします。
- これ以外の規定は、学会ホームページにある「(一社)日本特殊教育学会年次研究大会における研究発表に関する取扱い規定」を参照ください。

【一般社団法人 日本特殊教育学会倫理規定】

[https://www.jase.jp/about/pdf/rinri\\_rule.pdf](https://www.jase.jp/about/pdf/rinri_rule.pdf)

【一般社団法人 日本特殊教育学会年次研究大会における研究発表に関する取扱い規定】

[https://www.jase.jp/convention/pdf/presentation\\_rule\\_220227.pdf](https://www.jase.jp/convention/pdf/presentation_rule_220227.pdf)

#### 2. 発表論文集原稿作成要領

- 投稿用テンプレート(Word用)を大会ホームページからダウンロードすることができます。
- 原稿は、A4サイズ1頁です(上下20mm、左右16mmの余白を設けてください)。
- 原稿の作成はワープロソフト(Word)を使用して作成してください。バージョンによりレイアウトがくずれる可能性もありますので、PDFファイルに変換をおすすめしますが、保護はしないでください。
- 視覚障害者への情報保障として、原稿上の各図・表・図版について、2～30字程度の等価情報(図表等の形式、内容等に関する文字情報)をご記入ください。記入の方法については、追って大会ホームページ等でお知らせいたします。

### 3. 発表原稿投稿(アップロード)方法

- 投稿に際しては、**筆頭発表者、自主シンポジウムの企画者・司会者・話題提供者の学会の会員ID(数字8桁)を用意**してください。会員番号が不明な場合は必ず本人にご確認ください。会員ではない方は記入する必要はありません。
- 申し込みの際には、下の表の区分に従って、希望する領域・部門をそれぞれ1つずつ選び、適切なキーワードを**3語以内**でご記入ください。領域・部門については各企画を配置する際の参考とします。
- 研究発表で一連発表を希望する場合は、投稿の際に**一連発表者の参加受付番号(数字4桁)と発表の順番**を入力してください。
- 投稿完了後、登録メールアドレスに『演題登録確認メール』が送信されます。届かない場合には操作方法来に誤りがある場合がございますので、再ログインして内容確認をするか、運営事務局までお問合せください。
- **投稿締切までに投稿画面からのアップロードを完了してください。**  
受付期間内は投稿内容の上書きが可能です。

研究発表希望区分(※自主シンポジウムについても選択が必要です)

領域	A-1.教育(初等教育) A-2.教育(中等教育) A-3.教育(高等教育) A-4.教育(その他) B.生理 C.心理 D.医療・保健 E.福祉 F.キャリア G.その他
部門	1.視覚障害 2.聴覚障害 3.知的障害 4.肢体不自由 5.病弱虚弱 6.言語障害 7.行動・情緒障害 8.発達障害 9.重度・重複障害 10.矯正教育 11.障害全般 12.ダイバーシティ 13.その他
キーワード (例)	教育原理 歴史 人権擁護 福祉制度 教育計画 乳幼児期 地域社会 知的発達 ASD ADHD SLD 生涯発達 神経科学 認知発達 言語獲得 支援技術 就労支援 運動・動作 人間関係 指導方法 ソーシャルサポート 教育評価 教育課程 授業分析 交流および共同学習 作業学習 教科学習 不登校

## 研究発表

### 1. 発表原稿レイアウト

(大会ホームページから投稿用テンプレートをダウンロードできますので、ご参照ください。)

- 「題目(主題)」「題目(副題)」「氏名」「所属」「キーワード」の文字色は黒、ゴシック体、センタリングしてください。
- 「題目(主題)」は第1行と第2行に、18ポイントで書いてください。
- 「題目(副題)」は第3行に9ポイントで書いてください。副題がない場合は3行を空けてください。
- 「氏名」は第4行に記入し、連名の場合は筆頭発表者の氏名の前に○印をつけてください。
- 「所属」は、第5行に氏名の下にカッコでくくって書いてください。連名の場合、発表者の所属が同一であれば、ひとつだけ記入してください。所属が大学の場合には、学部あるいは研究所名まで記入し、大学院生は研究科名を記入してください。連名者が多数の場合は、一般に通用する略称を用いても差し支えありません。
- 「キーワード」は、第6行目に**3語以内**で記入してください。
- 第7行目は、空けてください。
- 「本文」は、文字色は黒、明朝体、サイズは9ポイントで書いてください。文字は、「3. 研究発表原稿レイアウト」に示す範囲に入れ、本文の字数は27字×52行×2段組としてください。本文の総字数は2,808字となります。題目の字数、副題などの関係から上記の行数や字のポイント数に若干変更があっても、第8行目から書き始めてください。
- 原稿の最終1～2行目には、発表者全員の氏名をローマ字(例:FUKUOKA Taro)で記入してください。

- 図や表は、レイアウト内に直接挿入してください。研究協力者が写っていない機材や機器、あるいは協力者の作品等の写真掲載も可能です。
- 写真を含む図表には、数の制限はありませんが、論文集原稿の4割以下の面積を目安にしてください。**投稿できるファイルのサイズは1MBまでです。**
- 視覚障害者への情報保障として、原稿上の各図・表・図版について、2～30字程度の等価情報(図表等の形式、内容等に関する文字情報)をご記入ください。記入方法は、追って大会ホームページ等でお知らせいたします。

## 自主シンポジウム

### 1. 発表原稿レイアウト

(大会ホームページから投稿用テンプレートをダウンロードできますので、ご参照ください。)

- 「題目」「氏名」「所属」「キーワード」の文字色は黒、ゴシック体とし、センタリングしてください。
- 「題目」は、原則として、18 ポイントで書いてください。
- 「氏名」と「所属」は、原則として、9 ポイントとします。
- 「キーワード」は、3 語以内で記入してください。
- 「本文」は、文字色は黒、明朝体、サイズは 9 ポイントで書いてください。企画趣旨、各話題の要旨、指定討論の要旨などの項に分けて記述してください。文字は、「3. 自主シンポジウム原稿レイアウト」に示す枠内に入れてください。
- 原稿の最終 1～3 行目には、企画者、司会者、話題提供者、指定討論者全員の氏名をローマ字(例: FUKUOKA Taro)で記入してください。
- 図や表は、レイアウト内に直接挿入してください。研究協力者が写っていない機材や機器、あるいは協力者の作品等の写真掲載も可能です。
- 写真を含む図表には、数の制限はありませんが、論文集原稿の4割以下の面積を目安にしてください。**投稿できるファイルのサイズは1MBまでです。**
- 視覚障害者への情報保障として、原稿上の各図・表・図版について、2～30字程度の等価情報(図表等の形式、内容等に関する文字情報)をご記入ください。記入方法については、追って大会ホームページ等でお知らせいたします。

### 2. 自主シンポジウム開催に関する注意事項

- 企画者および司会者は正会員に限ります。話題提供者および指定討論者は、非会員であっても差し支えありません。  
**ただし、研究発表の筆頭発表者、自主シンポジウムの企画者、司会者、話題提供者、指定討論者におけるご登壇合計回数は3回までに限ります。**(学会企画および大会企画シンポジウムご登壇、筆頭以外の研究発表については、この限りではありません。登壇しない企画者も、企画者として登録する場合はカウント対象となります。)
- 自主シンポジウム企画者は、**大会参加費に加えて、自主シンポジウム企画費の払込が必要です。**また、**企画者以外の正会員も大会参加申し込みおよび大会参加費の払込が必要です。**どちらの場合も、**5月31日(金)までに必ず払込を完了してください。**
- **自主シンポジウムに関与する非会員の方は、参加申し込みおよび大会参加費の払込が必要です。5月31日(金)までに、参加申込および大会参加費の払込みを完了してください。**